

矛盾を感じないのか。

また、利用可能な金額の制限や一部負担の導入の検討などをせずに、現行制度のまま存続すべきと考えるが、いかにか伺いたい。

答 この制度の趣旨は、高齢の方々に対する敬愛の精神と明るく豊かな老後の生活の充実を図っていただくことにある。そのような意義ある制度を今後も市民の理解の下に存続可能なものとするため、負担をお願いしようとするものである。

## 二百億円の経費削減に向けた取り組み

高橋克朋(自民党第二)

問 経費削減二百億円の達成のめどはどうか。また、さらに削減目標を高く設定する考えはないのか、併せて伺いたい。

答 初年度は、さまざまな努力により八十億円の経費削減を達成できたが、今後も同様の成果が期待できるかについては、非常に厳しいものがある。しかし、今後の財政状況を踏まえると内部努力の徹底を継続して行わなければならない、全庁が一丸となって取り組んでいく中で、まずは二百億円という目標を市長の任期中に達成したいと考えている。

## 観光振興

恩村一郎(新政クラブ)

問 観光資源としてのモエレ沼公園の価値と活用策について、新設される観光文化局の役割と併せて伺いたい。また、同公園の完成記念行事などの計画について伺いたい。

答 モエレ沼公園は、芸術的価値からも有力な観光資源になると期待している。観光文化局は文化的施設や文化事業を新しい観光資源として生かし、集客の増加につなげるものである。その意味からも、同公園を観光宣伝の中心に据え、さまざまな手法でPRしたい。また、完成記念行事は十七年度を予定しているが、このほかのイベントも適宜取り組んでいきたい。

## 就業支援

小林郁子(市民ネット)

問 就業サポートセンターでの支援事業について、女性のライフスタイルに合った支援策を伺いたい。また、新たな就業形態への支援や人材育成支援も行うべきと考えるがいかにか伺いたい。

答 子育て、介護などでいったん離職された方々の再就職に必要となる知識・情報を提供するセミナーや、キャリア

カウンセリング、職業紹介などを予定している。また、新たな就業形態の実態調査や起業家講座も予定している。人材育成支援は、民間教育機関との連携も検討したい。

## 大友堀公園を中心とする歴史的景観の復元・保存

佐藤美智夫(改革クラブ)

問 創成川の一部を水辺の景観を生かした「大友堀公園」として整備してはどうか。歴史的景観の復元・保存について、柔軟な発想と大胆な取り組みで都市計画構想を立ててほしいが、考えを伺いたい。

答 都心のまちづくりを進める上で夢のある構想であり、今後とも議論を深めていきたいと考えている。

## 委員会の活動状況

(二月十一日～三月十日)

### ■総務委員会

二月十二日  
札幌市都市計画マスタープランについて、企画調整局から説明を聴取し、質疑を行いました。

二月十三日

「住民基本台帳ネットワークシステムに関する陳情」二件の再審査を行い、継続審査としました。

二月二十六日

「スケートパーク建設に関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

### ■文教委員会

三月十日

資生館小学校(中央区南三西七)を視察しました。



文教委員 資生館小学校  
～ 所管施設を視察する

### ■厚生委員会

二月十九日

「札幌を子育てしやすい街に保育の公的拡充を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

二月二十三日

「自閉症の通所授産施設等の設置に関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

三月十日

「札幌市中心身障害者小規模授産事業運営費補助金及び札幌市精神障害回復者小規模作業所運営費補助金の道並み減額動向に対する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

## ■建設委員会

二月十九日

北海道住宅供給公社に対する本市貸付金の返済協議について、北五西五街区整備事業実施経過について、札幌市住宅対策協議会答申について、清田区美しが丘地区の液状化調査について、都市局から説明を聴取し、質疑を行いました。

## ■経済公営企業委員会

二月十九日

札幌水道長期構想の素案について、水道局から説明を聴取し、質疑を行いました。

三月四日

札幌市地下鉄事業経営健全化計画について、交通局から説明を聴取し、質疑を行いました。

## ■少子化対策・青少年育成調査特別委員会

二月二十四日

(仮称)札幌市次世代育成支援対策推進行動計画素案作成に向けての提言書を市長に提出することを決定しました。

## ■第一部・第二部予算特別委員会

三月三日

副委員長を互選し、発言方法などを決定しました。

三月九日

本会議で付託された議案の審査を行いました。